

左官

Ver.2_2026年7月9日



本競技職種実施要領は、以下の内容で構成される。

1	はじめに	3
1.1	競技職種の名称	3
1.2	競技職種に関連する職務または職業の説明	3
2	技能五輪全国大会職業標準	4
2.1	技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）	4
2.2	技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）	5
3	採点方法、採点基準とその配点、公表方法	12
3.1	採点対象	12
3.2	採点基準	12
3.3	公表方法	13
4	競技課題の概要	13
4.1	競技課題の構成	13
4.2	競技課題作成上の要求事項	13
4.3	競技課題の公表	13
4.4	競技課題の変更	14
5	職種限定規則	14
6	実施要領	15
7	競技スケジュール	16
8	支給材料・部材	17
9	選手持参工具・材料	19

1 はじめに

1.1 競技職種の名称

左官

1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明

左官とは、鋳を用いて建物の壁、床、天井などに左官材料を塗り付け、下地づくりから仕上げまでを行う技能職種です。その歴史は古く、日本では飛鳥時代にまでさかのぼるといわれ、漆喰や土壁などの伝統的な仕上げをはじめ、長い年月の中で建築文化とともに発展してきました。近年では、新築工事だけでなく、リフォームやリニューアル、住宅、ビル、マンション、店舗、伝統的建築物など、さまざまな建築物において左官の技能が求められています。自然素材を用いた塗り壁は、意匠性に加えて、調湿性、防火性、断熱性などの機能面からも見直されており、健康で快適な空間づくりに関わる仕上げとして注目されています。また、店舗や住宅の内外装では、左官ならではの質感や表情を生かしたデザイン性の高い壁面仕上げの需要も高まっています。

左官の仕事は日本国内に限らず、世界各国の建築現場にも共通する技能です。特に技能五輪国際大会につながる職種内容としては、鋳塗りによる湿式仕上げだけでなく、軽量鉄骨下地の組立て、石膏ボード張り、ジョイント処理、パテしごきなどを含む間仕切り仕上げ工事の技能も重要になります。下地の構成を理解し、乾式工法と湿式工法の両方に対応できることは、現代の左官技能者に求められる大切な能力です。

本競技では、図面を読み取り、墨出し、軽量鉄骨の組立て、石膏ボード張り、下地処理、左官材料による塗り仕上げ、置引きによる装飾モールディングの製作・取付けなど、左官職種に必要な幅広い技能を総合的に競います。

置引き作業では、焼石膏の性質や硬化の進み方を理解し、適切なタイミングで引き型を通す判断力が求められます。水で練った焼石膏を作業台に流し、形を崩さず、指定された形状と寸法に仕上げるためには、材料の状態を見極める経験と、無駄のない手早い作業が必要です。製作したモールディングは、指定寸法に合わせて切断・加工し、課題本体へ正確に取り付けます。その際には、接合部や留め部分の納まり、補修後の見栄え、全体の通りやバランスも重要になります。さらに、漆喰や土壁などの自然素材を用いた鋳塗り仕上げも含め、伝統的な左官技能と現代の内装仕上げ技能を組み合わせた、実践的な課題構成となっています。

このように左官技能者は、建物の下地から仕上げ、装飾、補修までを理解し、素材の特性を生かしながら美しく正確に仕上げる内外装施工の専門技能者です。

2 技能五輪全国大会職業標準

2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）

項目		配点率 (%)
1	作業計画・安全管理	5
2	図面の読み取り・施工計画	8
3	軽量鉄骨・石膏ボード下地の施工	20
4	断熱・遮音・耐火処理	6
5	石膏ボードの下地処理・仕上げ	15
6	内部・外部の左官作業	30
7	装飾モールディングの製作・取付け	8
8	伝統建築・装飾左官の技術	8

2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）

本項は、今回の競技課題だけを説明したものではなく、左官職種として必要となる標準的な知識や技能を示したものである。相対重要性配点率は、それぞれの項目が左官職種全体の中でどの程度重要かを示す割合である。競技においては、この配点率を参考に、どの知識や技能が重視されているかを理解しておくことが重要であり、競技課題や採点基準もこの考え方を基に作成される。

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
1	作業計画・安全管理	5
	以下について理解している必要がある： - 左官工事および乾式下地工事に関係する安全衛生、作業環境に関する基準や法令 - 作業内容に応じた個人用保護具（PPE）の種類と使用方法 - 電動工具および充電工具を安全に使用するための注意事項 - 建築工事の基本的な流れと施工方法 - 電気、設備、配管など、他職種の工事との関わり - 材料の正しい使用方法、保管方法および取扱い上の注意点 - 求められる仕上がりに応じた品質と作業効率のバランス - 工具や材料の整理整頓と、安全な保管方法 - 廃材や残材を安全に処理し、必要に応じて分別・再利用する方法 - 作業手順、材料管理、作業時間を考慮した、安全で効率的な作業の進め方	
	以下について実施できること： - 安全で衛生的な作業環境の整備と維持 腰、肘、肩、膝などの怪我を防ぐための作業姿勢や作業場所の確保 - 左官工事および乾式下地工事に関係する安全基準や法令の遵守 - 作業内容に応じた適切な個人用保護具（PPE）の使用 - 電動工具および充電工具の正しく安全な使用 - 石膏ボードおよび関連材料の安全な保管と適切な取扱い - 新しい施工方法、材料、環境への配慮などに関する継続的な学習 - チームの一員として協力しながら進める作業 - 他職種との連携、工程や作業範囲の確認 - 会場や主催者の備品等を傷つけないための適切な養生と配慮	

	項目とその内容	相対重要性 配点率(%)
2	図面の読み取り・施工計画	8
	以下について理解している必要がある： ・ 建物の用途に応じた施工方法や材料の選定 ・ 左官工事に必要な数学および幾何の基礎知識 ・ JASS15 や JIS 規格など、施工品質に関係する基準 ・ 左官作業の優先順位と、前後工程を踏まえた作業順序の考え方 ・ 材料の選定、数量確認、保管方法および使用期限の確認 ・ 報告・連絡・相談等の基本的なコミュニケーション ・ 建築図面、仕様書および工程表等の読み方 ・ 左官材料、取付材料、接合材、接着材などの種類、特性および品質 ・ 工事内容に応じた材料の選定と、その記録方法 ・ 床、壁、天井、外壁など、建物を構成する主な部位の仕組み ・ コンクリート造、木造、鉄骨造など、構造に応じた固定方法や材料の選定 ・ 乾式工法と湿式工法の違い ・ 断熱、遮音、防火など、壁や天井に求められる性能 ・ 下地づくりから仕上げまでの施工方法 ・ 建築材料の性質が、室内環境や仕上がりを与える影響 ・ 材料の硬化、吸水、乾燥、通気、結露、再利用などに関する基本的な知識	
	以下の能力を有すること： ・ 図面、仕様書、指示書などの読み取り ・ 図面や仕様に基づいた施工手順の検討 ・ 施工に必要な材料、数量、作業時間の整理 ・ 作業内容に応じた材料や工法の選定 ・ 施工上の注意点や確認事項の記録 ・ 建築士、監督者、他職種との打合せや確認 ・ 施工に関する専門的な内容を、相手に分かりやすく説明する力 ・ 角度、面積、周囲の長さ、曲線、円弧、体積、比率などの計算 ・ 図面と現場の状況を照らし合わせ、必要な確認や判断を行う力	

	項目とその内容	相対重要性 配点率(%)
3	軽量鉄骨・石膏ボード下地の施工	20
	以下について理解している必要がある： • 軽量鉄骨下地および石膏ボード下地に関係する基準や法令 • 軽量鉄骨・石膏ボード工事で使用する専門用語 • ランナー、スタッドなどの軽量鉄骨材による壁や天井の下地構成 • 軽量鉄骨材の切断、加工、固定に必要な施工方法 • ビス、締め付け金具、固定金具などの種類と使用方法 • 石膏ボードの種類、用途および取扱い方法 • 石膏ボードの切断、加工、張付け、ビス固定の方法 • 壁、天井、開口部まわりなど、部位に応じた下地の納まり • 曲面壁、アーチ、装飾的な形状など、複雑な下地を施工するための考え方 • 防火、遮音、断熱など、壁や天井に求められる性能 • 下地施工に使用する工具、機器、材料の安全な取扱い	
	以下の能力を有すること： • 図面に基づいた正確な寸法の確認 • ランナー、スタッドなどの軽量鉄骨材の正確な切断と加工 • 軽量鉄骨材の割付け、建込み、ビス固定 • 壁や天井下地の水平、垂直、直角の確認 • 開口部まわりの下地を正確に組み立てる施工 • 必要に応じた断熱材、遮音材、防火材などの設置 • 曲面壁、アーチなど、複雑な形状に対応した下地の施工 • 石膏ボードの正確な切断、加工、張付けおよびビス固定 下地の通り、段差、ビスの留め付け状態などの確認	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
4	断熱・遮音・耐火処理	6
	以下について理解している必要がある： - 建物の断熱、遮音、耐火に関する基準や法令 - 断熱材、遮音材、耐火材の種類、特徴および使用目的 - 断熱材、遮音材、耐火材の保管、取扱いおよび施工時の安全管理 - 建物の用途や部位に応じた、適切な材料の選定 - 壁や天井に求められる断熱性能、遮音性能および耐火性能 - 断熱、遮音、耐火処理が建物の品質や安全性に与える影響 - 環境への配慮や材料の適切な使用方法 - 接合部、端部、入隅、出隅、開口部まわりなどの納まり - 断熱、遮音、耐火処理に使用する工具や材料の取扱い方法	
	以下の能力を有すること： - 断熱材の適切な取付けと固定 - 遮音材の適切な取付けと固定 - 延焼防止に必要な耐火材の取付けと固定 - シーリング材などの弾性材の適切な使用 - 接合部、端部、開口部まわりの隙間や納まりの確認 - 施工後の状態確認と、必要に応じた手直し	
5	石膏ボードの下地処理・仕上げ	15
	以下について理解している必要がある： - 石膏ボード下地を仕上げるための各種施工方法 - 石膏ボードの下地処理に使用する材料と施工手順 - ジョイントテープ、ガラス繊維テープ、紙テープなどの種類と使用方法 - ジョイント部、ビス穴、切断面などの処理方法 - 入隅、出隅、開口部まわりなどの納まりと仕上げ方法 - コーナービード、メタルアングル、コーナー材などを使用した角部の仕上げ方法 - パテ処理、研磨、全面しごきなど、仕上げ面を平滑に整える方法 - 石膏ボード下地に左官材料や石膏プラスターを塗り付ける場合の注意点	
	以下の能力を有すること： 仕上げを行う前の石膏ボード面の確認と清掃	

項目とその内容	相対重要性 配点率(%)
- ジョイント部、ビス穴、切断面などの適切な下地処理 - 左官材料、パテ材、石膏プラスターなどの適切な調合 - ジョイントテープやパテを使用した、石膏ボード取り合い部の処理 - 入隅、出隅、開口部まわりの正確な処理 - 仕上げ面の段差、凹凸、ひび割れを防ぐためのパテ処理 - 仕上げ面の研磨および平滑な下地づくり - 必要に応じた全面しごきやコーティング 石膏ボード下地への石膏プラスター等の上塗り仕上げ	
6 内部・外部の左官作業	30
以下について理解している必要がある： - 石膏、モルタル、漆喰、土壁など、左官材料の種類と用途 - 下地の種類や状態が、左官仕上げに与える影響 - 下地調整、下塗り、中塗り、上塗りなどの基本的な施工手順 - 鏝を用いた塗り付け、押さえ、ならし、仕上げの技法 - 平面、曲面、入隅、出隅、開口部まわりなどの施工方法 - 内部および外部の左官作業に使用する工具、機器、材料の取扱い - ひび割れ、欠け、不陸などの補修方法 - 石膏塗り、漆喰塗り、土壁仕上げなどの特徴と施工上の注意点 - かき落とし、スタッコ仕上げなど、質感を生かした仕上げ方法 - 外部左官作業に関係する基準、法令、安全な作業方法 - 足場、脚立、作業床などを使用する際の安全管理 - 作業内容に応じた個人用保護具（PPE）の使用方法 - 材料の特性、品質、用途および施工上の制限 - 廃材や残材の安全な処理方法 - 仕上がりの品質確認と、必要に応じた手直しの方法	
以下能力を有すること： - 左官作業を行うための下地確認と下地調整 - 材料の性質や施工条件に応じた適切な調合 - 平面および曲面への下塗り、中塗り、上塗り、仕上げ塗り - 鏝を用いた滑らかで均一な仕上げ	

項目とその内容	相対重要性 配点率(%)
- 仕様に基づいた寸法、厚み、仕上がり精度の確保 - 入隅、出隅、開口部まわりの正確な施工 - ひび割れ、欠け、不陸などの補修 - 材料や仕上げに応じた適切な塗り方の選定 - 外部下地への下地調整および左官材料の塗り付け - レンガ、ブロック、コンクリート、基礎、壁面などへの施工 - 質感を生かした仕上げ材の塗り付け - 安全基準や作業手順を守った施工 - 工具、機器、材料の適切な使用と管理 - 廃材や残材の安全な片付け - 仕上がりの確認と、必要に応じた手直し	
7 装飾モールディングの製作・取付け	8
以下について理解している必要がある： - 装飾モールディングなどの造形物を製作するための基本的な方法 - 装飾モールディングの用途、形状および納まり - 置引き作業に使用する引き型の仕組みと取扱い - 石膏などの材料の性質と、硬化時間を考慮した作業手順 - モールディングの切断、加工、留め継ぎ、接合の方法 - 装飾モールディングの取付けに使用する材料や固定方法 - 接合部や欠け、隙間などの補修方法 - 仕上がりの形状、通り、接合部の見栄えに関する品質確認	
以下の能力を有すること： - 図面や課題内容に基づいた装飾モールディングの形状確認 - 置引き用の引き型の作成 - 石膏を使用した装飾モールディングの製作 - 製作したモールディングの切断および加工 - 内角、外角、留め部分などの正確な納まり - モールディングの正確な位置出しと取付け - 接合部、切断面、欠けなどの補修 - 通り、形状、接合部の見栄えを整える仕上げ	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
8	伝統建築・装飾左官の技術	8
	以下について理解している必要がある： - 文化財や歴史的建築物に使われる左官材料の種類と特徴 - 建物の歴史、構造および伝統的な建築技法 - 伝統建築物の保存や補修に関する基準、法令および考え方 - 漆喰、土壁、石膏などを用いた伝統的な左官仕上げの方法 - 質感や意匠を生かした装飾左官の技法 - 図面、仕様書、スケッチなどを読み取るための基礎知識 - 伝統的な意匠や建物の特徴を尊重した施工方法 - 下地づくり、材料の調合、塗り付け、仕上げまでの施工手順 - 曲線、アーチ、装飾部材などの基本的な構成 - スタッコ仕上げ、石膏モールディング、天井装飾などの装飾技法 - 石膏モールディングなどの切断、加工、取付け方法	
	以下の能力を有すること： - 建物の歴史や意匠への尊重 - 図面、仕様書、課題内容の正確な読み取り - 施工内容に応じた材料の前処理および調合 - 伝統的な建築物や装飾部分に適した下地処理方法 - 建物の状態に応じた補修、改修、維持管理に関わる作業 - 漆喰、土壁、石膏などを用いた伝統的な左官技法の適用 - 曲線、アーチ、装飾部材などの形状に合わせた施工 - 石膏モールディングや装飾部材の切断、加工、取付け - 周囲と調和する仕上がり、質感、納まりの確認 - 関係者と施工内容を確認しながら進めるための連絡・調整	
	合計	100

3 採点方法、採点基準とその配点、公表方法

3.1 採点対象

区 分
施 工 法
精 度
作業態度
外 観
スピード競技

3.2 採点基準

区 分 \ 項 目	採 点 基 準	配 点
施 工 法	墨 出 し 置引き作業 モジュール1※ モジュール2 モジュール3※	40.0
精 度	寸 法 角 度 水 平 度 垂 直 度 平 面 度 接 合 部 引き型・鉄板加工	40.0
作業態度	手 ぎ わ 整 理 整 頓	9.0
外 観	外 観	8.0
スピード競技	モジュール2	3.0
合 計		100

※モジュール1・3では、延長可能時間10分のうち、未使用时间1分につき0.3点を加算する。

3.3 公表方法

主催者が指定する方法において、参加選手本人による照会の場合のみ、原則として競技結果（順位、得点）を伝達します。

4 競技課題の概要

4.1 競技課題の構成

競技課題は、3工程に分けられたモジュール形式で実施します。競技時間は2日間、計9時間30分です。

モジュール1では、課題図面に基づき、墨出しを行った上で軽量鉄骨を組み立て、石膏ラスボード（以下「ラスボード」という。）を取り付けて下地を作成します。また、モールディング用の引き型は、鉄板を加工して木型に取り付け、その引き型を使用して置引き作業を行います。製作したモールディングは、指定寸法に合わせて切断・加工し、指定された箇所へ取り付け、接合部等の補修を行います。さらに、各部の中塗りおよびパテ仕上げを行います。

モジュール2では、スピード競技として、自由課題部分に使用するモールディングの取付け、接合部等の補修および一部壁面上塗りをを行います。

モジュール3では、各部の上塗りをを行い、自由課題を左官材料で仕上げて、全工程を終了します。

本競技では、図面の読み取り、墨出し、軽量鉄骨およびラスボードによる下地施工、置引きによる装飾モールディングの製作、モールディングの取付けと補修、パテ仕上げ、左官材料による塗り仕上げ、自由課題による表現力を総合的に競います。正確な施工精度、材料の扱い、作業手順、仕上がりの美しさ、安全で効率的な作業が求められます。

4.2 競技課題作成上の要求事項

各モジュールは、それぞれ個別に評価します。各モジュール終了時には、指定された作業を完了し、作業終了の状態にしてください。

なお、あるモジュールでミスがあった場合でも、そのミスを理由として、別のモジュールの評価点が失われることはありません。

4.3 競技課題の公表

事前公表の競技課題は、原則として技能五輪大会開催の3か月前に主催者ウェブサイトで公表します。

各部の位置を示す非公表寸法は、競技1日目の課題説明の際、実施図面を配布する形で公表します。

競技課題に関する質問は、参加選手に限り受付します。質問受付期間内に主催者ウェブサイトにて指定する方法で質問してください。

4.4 競技課題の変更

事前公表競技課題に変更がある場合は、主催者ウェブサイトで公表します。

競技課題では、一部の寸法を競技1日目に変更いたします。

5 職種限定規則

- ①電源やバッテリーを使用する道具・工具等は、充電ドライバーおよびレーザー墨出し器のみ使用可とする。
- ②墨出し作業時は、レーザー墨出し器を使用してもよいが、レーザーの光が他の選手の課題に映らないように注意すること。（側面・後方にレーザーが出る機種はテープなどで照射をふさぐこと）
- ③各モジュール終了時は、養生等の取り外しおよび清掃を行い、完全に作業終了した状態とする。
- ④置引きに使用するアルミ製定木および走り定木は支給するため、持ち込みは不可とする。
ただし、墨出しその他に使用する定木は持ち込み可とする。なお、あらかじめ指定寸法を記入した定木および加工した型の使用は不可とする。
- ⑤ランナー、スタッドは、ビス止めをする（使用するビスは各自持参）。
- ⑥スタッド固定用のアングルピースは使用可とする（使用する場合は各自持参）。
- ⑦軽量鉄骨加工および石膏ボード切断のカッター使用時は、安全のため、切創防止手袋（EN388：2016の耐切創レベルD以上）を着用すること。
- ⑧置引き作業時における引き型の洗い水容器の容量および残土の量は、最小限度にとどめる。
- ⑨モールディングを切断する際は、箱定木（留め型）を使用してもよい。ただし、指定寸法に合わせて両端を切断できるように製作した箱定木の使用は禁止する。
- ⑩モールディングとコーナー材の張り付け材料は自由とする（ビス、タッカーの併用は可とし、有機接着剤の使用は禁止）。
- ⑪モールディング補修材は自由とする（有機接着剤の使用は禁止）。
- ⑫各モジュールで使用する塗り材料は、当日係員が支給する。
- ⑬次以降のモジュールの作業を先に行ってはならない。なお、終了済みのモジュールの修正は認める。
- ⑭鉄板加工、ラスボードの切断・加工、および置引き等の作業は、備え付けの作業台を使用する。
- ⑮脚立の天端に乗っての作業は不可とする。

6 実施要領

- ① 競技中、工具の貸し借りおよび競技エリア外からのアドバイスは禁止する。
- ② 安全規則を守る。ケガをした選手は、競技委員が協議を行い、対応を決定する。
- ③ 休息时间および作業終了後は、速やかに参加票を係の者に提出する。
- ④ 作業台および作業エリアは、常に整理整頓する。また、各モジュール終了時および休息时间前には、その都度清掃・片付けを行うこと。
- ⑤ 競技1日目の読解・打合せ時間は、選手1名につき指導者1名までとし、同一の指導者が複数の選手と打合せを行うことは認めない。
- ⑥ 競技時間中は、携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、スマートウォッチ、イヤホン等の電子機器類の使用を禁止する。ただし、競技に使用を認められた機器は除く。
- ⑦ 競技時間や仕様および作業説明・職種限定規則に関しては遵守すること。

7 競技スケジュール

競技二日前

選手工具搬入	8:00	～	12:00
--------	------	---	-------

競技一日前

受付	8:30		
選手工具搬入	8:00	～	9:00
左官職種開会式・説明・工具展開	9:00	～	10:30
架台チェック調整	順次		
選手解散予定	13:00		

競技一日目

受付	7:40	～	8:00
準備体操	8:00	～	8:05
説明・当日変更部分の公表	8:05	～	8:15
読解・打合せ時間	8:15	～	8:45
競技・モジュール1（10分休息含む）	8:50	～	12:00
昼食	12:00	～	13:00
競技・モジュール1（10分休息含む）	13:00	～	16:40
選手解散予定	17:00		

競技二日目

受付	8:00	～	8:25
準備体操	8:25	～	8:30
説明	8:30	～	8:40
競技・モジュール2	8:50	～	9:30
休憩	9:30	～	9:40
競技・モジュール3	9:40	～	12:00
昼食	12:00	～	13:00
左官職種閉会式・スナップ・写真撮影	13:00	～	13:40
選手解散予定	13:40		

8 支給材料・部材

番号	品 名	規 格	数量	備 考
1	鉄板	200mm×150mm×0.4mm	1枚	引き型製作
2	方眼紙	A4 1mm方眼	1枚	引き型製作
3	焼石膏	吉野石膏 桜印A級20kg	2袋	モールディング製作
4	Bドライ	吉野石膏(株)	適量	左上壁、腰壁、ふかし壁、 ふかし壁くぼみ部 中塗り
5	N Sハイフレックス	日本化成(株)	適量	左上壁部
6	漆喰くるむトラッド	日本ブラスター工業(株)	適量	左上壁部 上塗り
7	深谷土(荒木田土)プレミックス	(有)深谷配合粘土工業	適量	腰壁(左側) 上塗り
8	深谷土(荒木田土)ちり塗り用	(有)深谷配合粘土工業	適量	腰壁(左側) 四方ちり塗り
9	砂王 S Kセレクトカラー仕様	四国化成工業(株) 色: 154	適量	腰壁(右側) 上塗り
10	シルタッチ S N	フジワラ化学(株) 色: SN-316	適量	ふかし壁
11	タイガーフライト(60分用)	吉野石膏(株)	適量	パテ仕上げ
12	タナクリーム磨き仕上げ	田中石灰工業(株)	適量	ふかし壁くぼみ部
13	タナクリーム専用顔料	田中石灰工業(株) 色: ベネトロッサ	適量	ふかし壁くぼみ部
14	ニューラスボード	吉野石膏(株) 1,820mm×910mm×7mm	1枚	柱部製作
15	ニューツーウェーコーナー定規 ピン角仕上げ用 7K	フクビ化学工業(株) 1.82m	2本	ふかし壁
16	S式溝目地 (白)	フクビ化学工業(株) 1m	1本	腰壁見切部
17	アルミ製定木	1,800mm×60mm×25mm	2本	置引き作業
18	走り定木	3,640mm×36mm×12mm	1本	置引き作業・その他
19	検定定規	1,820mm×30mm×6mm	1本	その他
20	スペーサー金具	65型 (株)桐井製作所	20個	ふかし壁軽量鉄骨材料
21	ランナー(一般普及材)	65ランナー(67mm×40mm) (株)桐井製作所 長さ1000mm×1本、2,000mm×1本	2本	ふかし壁軽量鉄骨材料

番号	品 名	規 格	数量	備 考
22	スタッド（一般普及材）	65スタッド(65mm×45mm) (株)桐井製作所 ・長さ1,703mm×2本（直角切断） ・長さ183mm×1本 （背側183mm基準・開口側長め45度切断） ・長さ1,465mm×1本 （背側1,465mm基準・開口側長め45度切断） ・長さ1,585mm×1本 （背側1,585mm基準・開口側短め45度切断）	5本	ふかし壁軽量鉄骨材料
23	発泡スチロール	1,820mm×910mm×10mm	1枚	置引き中込め用
24	取り舟	小	1個	残土用容器
25	バケツ	18ℓ	3個	プラスチック製
26	作業台	コンクリート型枠用塗装合板 1,800mm×900mm	1台	置引き・各種作業用
27	置き台	1,800mm×900mm	1台	モールドイング保管用
28	架台	ラスボード 1,820mm×1,820mm×7mm	1台	課題製作下地

9 選手持参工具・材料

番号	品 名	規 格	数量	備 考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	
2	工具箱	大きさは1㎡前後	1個	
3	モールディングの張付け材		適量	有機接着剤不可
4	コーナー・目地材の張り付け材		適量	有機接着剤不可
5	自由課題仕上げ材	左官材料	適量	
6	養生テープ	市販品	適量	
7	保護用手袋	切創防止手袋	1枚	軽鉄・ボード切断時着用
8	脚立（作業台）	高所作業用	1脚	使用者は持参すること
9	パテ、シーラー材保管容器	2ℓ 前後容器	2個	材料配布用
10	レーザー墨出し器	水平・垂直 三脚共	1セット	墨出し用
11	ジョイントテープ	幅50mm以上	適量	ラスボードのジョイント部

※工具箱の大きさは1㎡前後とする。 著しく大きい工具箱の持参は、協議の上対応する。